

農研速報

令和7年12月22日発行

茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室

〒311-4203 茨城県水戸市上国井町3402

TEL 029-239-7212 FAX 029-239-7306

水稻の生育状況（12月15日現在、水戸市）

地域名	移植時期	収量平年比(%)	作柄概況
茨城県 (水戸市)	5月1日	「あきたこまち」 97 「ふくまるS'L」 92 「コシヒカリ」 94	<p>【気象概況および生育概況】</p> <p>◇移植～出穂期</p> <p>5月第1半旬～7月第6半旬は、平均気温は+1.1°C、日照時間は104%と平年並で推移した。半旬別に見ると、5月第6半旬の平均気温は平年より3.2°C低かったが、6月第4半旬～7月第2半旬の平均気温は+3.1°C、日照時間は平年の146%と高く推移し、7月第3半旬の平均気温は+0.1°Cと平年並、日照時間は47%と少なかった。出穂期は、「あきたこまち」が平年並の7月14日、「ふくまるS'L」が平年より1日早い7月15日、「コシヒカリ」が平年並の7月25日だった。</p> <p>◇出穂期～成熟期（登熟期間）</p> <p>平年と比較して、登熟期間の平均気温は「あきたこまち」で+1.2°C、「ふくまるS'L」で+1.1°C、「コシヒカリ」で+0.9°C、日照時間は「あきたこまち」で113%、「ふくまるS'L」で112%、「コシヒカリ」で122%だった。成熟期は、「あきたこまち」が平年より3日遅い8月23日、「ふくまるS'L」が平年並の8月22日、「コシヒカリ」が平年より2日早い9月1日だった。登熟日数は「あきたこまち」が40日で平年より3日長く、「ふくまるS'L」が38日で平年より1日長く、「コシヒカリ」が38日で2日短かった。</p> <p>【あきたこまち】</p> <p>成熟期の生育は、稈長はやや長く、穂長はかなり長く、穂数及び倒伏程度は平年並だった。</p> <p>収量構成要素は、穂数は平年並、一穂粒数はかなり多く、千粒重はやや軽く、登熟歩合はかなり低かった。</p> <p>精玄米重(収量)は、平年比97%で平年並だった。</p> <p>玄米外観品質は平年に比べ、基部未熟粒、背白粒、その他が多く整粒歩合はかなり低かった。</p> <p>【ふくまるS'L】</p> <p>成熟期の生育は、稈長は平年並、穂長はかなり長く、穂数はかなり少なく、倒伏程度はかなり小さかった。</p> <p>収量構成要素は、穂数はかなり少なく、一穂粒数はかなり多く、千粒重は平年並、登熟歩合はかなり低かった。</p> <p>精玄米重(収量)は、平年比92%でかなり低かった。</p> <p>玄米外観品質は平年に比べ、心白粒、背白粒、その他が多く、整粒歩合は低かった。</p> <p>【コシヒカリ】</p> <p>成熟期の生育は、稈長はかなり長く、穂長は長く、穂数はかなり少なく、倒伏程度は平年並だった。</p> <p>収量構成要素は、穂数はかなり少なく、一穂粒数はかなり多く、千粒重は平年並、登熟歩合は低かった。</p> <p>精玄米重(収量)は、平年比94%でかなり低かった。</p> <p>玄米外観品質は平年に比べ、基部未熟粒、背白粒、その他が多く、整粒歩合はやや低かった。</p>

5月9日	<p>「コシヒカリ」 103</p> <p>「にじのきらめき」 102 (前年比)</p>	<p>【気象概況および生育概況】</p> <p>◇移植～出穂期 気象概況は5月1日移植に準ずる。 7月第3半旬の平均気温は+0.1°Cと平年並、日照時間47%だったが、7月第1～7月第6半旬の平均気温は+2.0°C、日照時間は平年の130%だった。出穂期は「コシヒカリ」は平年並の7月29日、「にじのきらめき」は前年より3日遅い7月28日であった。</p> <p>◇出穂期～成熟期（登熟期間） 平年と比較して、登熟期間の平均気温は「コシヒカリ」、「にじのきらめき」とともに+1.0°C、日照時間は「コシヒカリ」で121%、「にじのきらめき」で120%だった。成熟期は、「コシヒカリ」が平年より4日早い9月4日、「にじのきらめき」が前年より4日遅い9月13日だった。登熟日数は「コシヒカリ」が36日で平年より4日短く、「にじのきらめき」が47日で前年より1日長かった。</p> <p>【コシヒカリ】 成熟期の生育は、稈長はかなり長く、穂長は平年並、穂数は少なく、倒伏程度はかなり大きかった。 収量構成要素は、穂数は少なく、一穂粒数は多く、千粒重は重く、登熟歩合はかなり低かった。 精玄米重(収量)は、平年比103%で平年並だった。 玄米外観品質は平年に比べ、心白粒、基部未熟粒、その他が多く、整粒歩合は低かった。</p> <p>【にじのきらめき】 成熟期の生育は前年と比較して、稈長、穂長は前年並、穂数はかなり多かった。 収量構成要素は、穂数はかなり多く、一穂粒数、千粒重及び登熟歩合は前年並だった。 精玄米重(収量)は、前年比102%で前年並だった。 玄米外観品質は前年に比べ、その他が多く、整粒歩合は前年並だった。</p>
------	---	---

表1 生育、収量、収量構成要素

(水戸市、作物研究室)

移植時期 (月/日)	品種	出穂期			成熟期			稈長		穂長		穂数			倒伏程度				
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差
		(月/日)	(日)	(日)	(月/日)	(日)	(日)	(cm)	(%)	(%)	(cm)	(%)	(%)	(本/m ²)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
5/1	あきたこまち	7/14 (7/11)	+3 (7)	±0 (14)	8/23 (8/19)	+4 (8/20)	+3 (8/20)	88.9 (94.1)	94 (84.9)	105 (84.9)	20.7 (19.3)	107 (18.5)	112 (546)	452 (470)	83 (2.4)	96 (470)	2.0 (2.4)	-0.4 (1.8)	+0.2
	ふくまるS L	7/15 (7/12)	+3 (7)	-1 (16)	8/22 (8/20)	+2 (8/22)	±0 (8/22)	83.6 (92.0)	91 (82.4)	101 (82.4)	20.8 (21.1)	99 (20.1)	104 (20.1)	401 (508)	79 (457)	88 (2.5)	1.0 (2.5)	-1.5 (1.9)	-0.9
	コシヒカリ	7/25 (7/22)	+3 (7)	±0 (25)	9/1 (8/30)	+2 (9/3)	-2 (9/3)	96.7 (97.7)	99 (93.0)	104 (93.0)	21.7 (22.0)	99 (20.9)	104 (20.9)	388 (440)	88 (431)	90 (2.2)	3.0 (2.2)	+0.8 (2.8)	+0.2
5/9	コシヒカリ	7/29 (7/26)	+3 (7)	±0 (29)	9/4 (9/5)	-1 (9/8)	-4 (9/8)	102.0 (93.7)	109 (92.1)	111 (92.1)	21.4 (22.9)	93 (21.2)	101 (21.2)	391 (393)	100 (405)	97 (1.9)	3.5 (2.5)	+1.6 (2.5)	+1.0
	にじのきらめき	7/28 (7/25)	+3 (7)	- (25)	9/13 (9/9)	+4 (9/9)	- (-)	74.9 (73)	103 (-)	- (-)	21.1 (22.2)	95 (-)	- (-)	446 (386)	116 (-)	- (-)	0.0 (0.0)	±0 (0.0)	-
移植時期 (月/日)	品種	精玄米重			一穂粒数			m ² 当たり粒数			千粒重			登熟歩合					
		本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比
		(kg/a)	(%)	(%)	(粒/穂)	(%)	(%)	(百粒/m ²)	(%)	(%)	(g)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
5/1	あきたこまち	63.1 (71.4)	88 (64.8)	97	81 (79)	103 (71)	115	368 (431)	85 (334)	110	21.8 (22.2)	98 (22.2)	98 (22.2)	82.7 (86.0)	96 (87.1)	95			
	ふくまるS L	66.0 (78.1)	85 (71.8)	92	79 (79)	99 (70)	112	315 (401)	79 (322)	98	25.2 (25.5)	99 (25.2)	100 (25.2)	79.6 (79.3)	100 (88.0)	88			
	コシヒカリ	62.6 (64.9)	96 (66.4)	94	92 (90)	103 (86)	108	358 (395)	91 (369)	97	22.2 (21.9)	101 (22.0)	101 (22.0)	79.0 (80.4)	98 (82.0)	96			
5/9	コシヒカリ	67.0 (65.0)	103 (65.2)	103	94 (91)	103 (85)	110	368 (360)	102 (346)	106	23.3 (22.6)	103 (22.9)	102 (22.9)	80.4 (85.4)	94 (84.0)	96			
	にじのきらめき	70.2 (68.5)	102 (-)	-	82 (86)	95 (-)	-	366 (333)	110 (-)	-	24.1 (24.0)	100 (-)	-	84.3 (88.0)	96 (-)	-			

※1 () 内は前年または平年の実数値を示す。

※2 出穂期は全茎の40~50%が出穂した日、成熟期は帶緑穂割合が10%程度の日を示す。

※3 倒伏程度は0:無、1:微、2:少、3:中、4:多、5:甚の6段階評価。

※4 精玄米重および登熟歩合は1.85mm篩目調製後の値を示す。

※5 m²当たり粒数=穂数×一穂粒数

表2 玄米外観品質

(水戸市、作物研究室)

移植時期 (月/日)	品種	整粒歩合 (%)			青未熟粒 (%)			乳白粒 (%)			心白粒 (%)			基部未熟粒 (%)			背白粒 (%)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
5/1	あきたこまち	34.9	-28.1	-40.7	1.4	-7.4	-4.0	1.0	-9.9	-3.2	4.0	-1.3	+1.3	4.8	+3.4	+3.2	16.3	+0.7	+10.6
	ふくまるSL	61.0	-16.3	-17.3	1.5	-5.1	-6.4	1.8	-0.7	-0.8	5.5	+2.3	+4.2	1.7	+1.4	+1.6	4.9	+2.0	+4.1
	コシヒカリ	62.1	-4.9	-11.0	1.8	-1.7	-3.8	1.9	-3.8	-2.9	4.9	+0.9	+2.1	8.3	+4.0	+5.2	7.7	+2.5	+5.1
5/9	コシヒカリ	60.9	-9.4	-15.3	2.8	+1.3	-1.5	1.9	-2.8	-1.9	6.2	+2.1	+4.0	7.2	+2.4	+4.6	3.9	-1.5	+1.7
	にじのきらめき	68.4	+3.1	-	0.2	-0.9	-	0.8	-2.7	-	1.7	-1.2	-	3.4	-4.1	-	2.3	-2.0	-
		(65.3)	(-)		(1.1)	(-)		(3.5)	(-)		(2.9)	(-)		(7.5)	(-)		(4.3)	(-)	

移植時期 (月/日)	品種	腹白粒 (%)			その他 (%)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
5/1	あきたこまち	0.3	+0.2	-0.2	38.8	+34.1	+32.3
		(0.1)	(0.5)		(4.7)	(6.5)	
	ふくまるSL	2.6	+0.1	+1.1	22.1	+16.0	+14.4
5/9	コシヒカリ	(2.5)	(1.4)		(6.2)	(7.7)	
		1.3	-2.3	-0.0	14.4	+8.0	+7.6
	コシヒカリ	(3.5)	(1.3)		(6.4)	(6.8)	
5/9	にじのきらめき	1.7	-2.3	+0.3	17.4	+9.8	+10.6
		(4.0)	(1.4)		(7.6)	(6.7)	
		0.8	-1.7	-	23.3	+6.8	-
		(2.5)	(-)		(16.5)	(-)	

【玄米外観品質】

1) 調査は目視判別による。

2) その他は、その他未熟粒・被害粒・着色粒・死米を合計したもの。

3) その他未熟粒とは、青未熟粒、乳白粒、心白粒、基部未熟粒、背白粒、腹白粒以外の未熟粒を指し、一般に弱体な米粒で、その形態は種々である。例えば、粒が扁平なもの、縦溝が深く筋張っているもの、皮部が厚いもの等、総じて充実不十分なものを指す。

【平年値】令和2年～令和6年の5年間の平均値

ただし、「ふくまるSL」の令和2年の値は、「ふくまる」のデータを使用した。

「にじのきらめき」は令和6年から調査開始のため、平年値は無し。

【耕種概要】

1) 苗質：稚苗

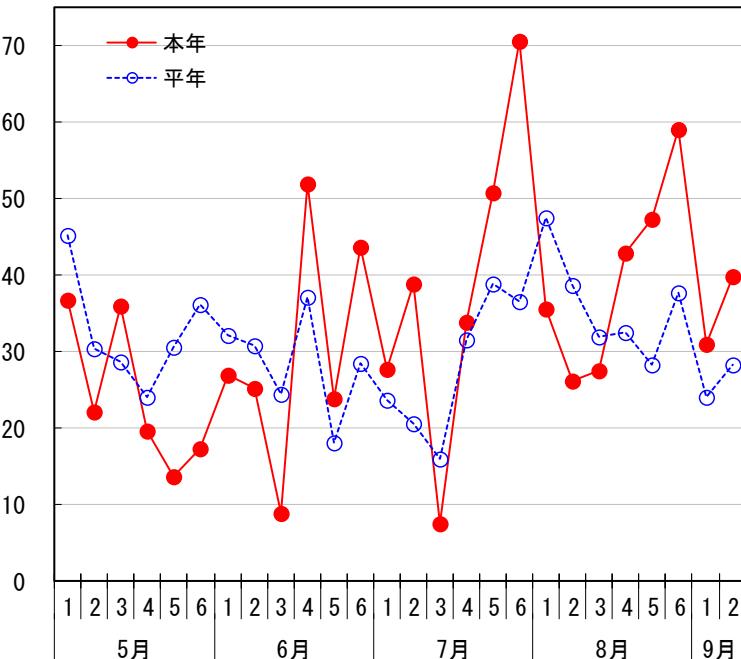
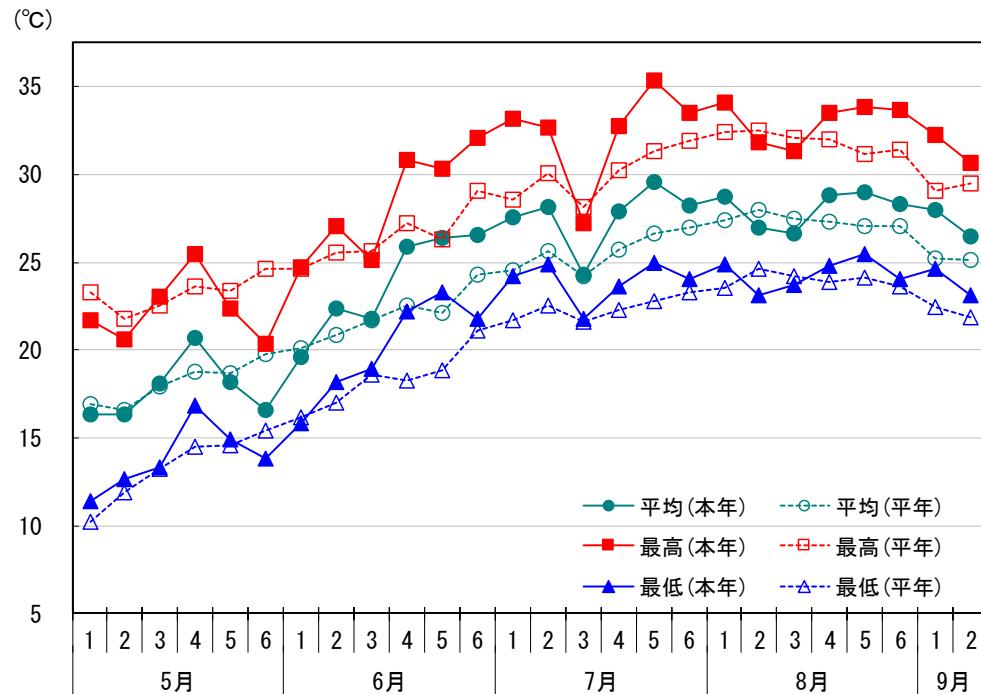
2) 植え付け本数：5本/株

3) 基肥施肥量

「あきたこまち」・「ふくまるSL」 N : P₂O₅ : K₂O = 0.8 : 2.0 : 1.8 (kg/a)「コシヒカリ」 N : P₂O₅ : K₂O = 0.6 : 1.5 : 1.4 (kg/a)「にじのきらめき」 N : P₂O₅ : K₂O = 1.0 : 2.5 : 2.2 (kg/a)4) 栽植密度：18.5株/m²

5) 追肥時期および追肥施肥量

(5月1日移植) 「あきたこまち」 6月26日 N : K₂O = 0.3 : 0.3 (kg/a)「ふくまるSL」 6月26日 N : K₂O = 0.4 : 0.4 (kg/a)「コシヒカリ」 7月10日 N : K₂O = 0.3 : 0.3 (kg/a)(5月9日移植) 「コシヒカリ」 7月14日 N : K₂O = 0.3 : 0.3 (kg/a)「にじのきらめき」 7月10日 N : K₂O = 0.3 : 0.3 (kg/a)



移植時期別の
気象条件

移植時期	期間	平均気温 (°C)			積算平均気温 (°C)			積算日照時間 (hr)		
		本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比 (%)
5月1日移植	5月第1半旬～9月第2半旬	24.5	23.4	+1.1	3,260	3,117	+142.8	865	803	108
5月9日移植	5月第3半旬～9月第2半旬	25.2	24.0	+1.2	3,096	2,949	+146.9	806	727	111